

生活検討部会 前回までの部会での意見のまとめ

凡例
 ★：市の考える方向性
 ○：意見
 黒字は第2回、青字は第3回の意見

【広場と南北・東西動線】
 ★老朽化した跨線橋の架け替えと、京王線をまたぐ東西方向の通路の整備が必要であり、それぞれ降りる所に人が溜まれる広場を確保していきたい。

【東西方向の動線】
 ★東西の自由通路は、位置はまだ未確定だが、整備していきたい。
 ○東西をつなぐ動線は地下の方が良い。
 ○地下でつなぐとしたら地下は明るくしたい。
 ○地下でつなぐと自転車の通行が不便になる。陸橋をかけてつないだらどうか。

【駅へのアクセス路】
 ○商店街通りは理想としては、道路幅員を広げたいが、合意形成に時間がかかるのではないかと。
 ○道路幅員を広げすぎると、進入車両が増え、買物客が危険になるため、現在の幅員のまま人と車が安全に通行できるように考えた方がよい。
 ○三井住友銀行のATMの横の区間だけ道路拡幅すれば、車が回転するスペースを確保しなくても、高安寺西側の道路（市道4-139号線）に車が抜けられる。

【駅前広場】
 ○駅前広場としては駅前直近の街区だけでも市で確保できれば整備可能だと思う。

【駅舎の改良】
 ★改札口を増やすことは難しい。
 ○駅舎を改良して南北の高低差が解消できれば、南北の一体感が高まる。
 ○駅舎の内部が手狭なので、広くしたい。

【さがりルート（市道4-159号線）】
 ○バリアフリー化整備事業により段差がなくなったが、自動車がすれ違う時に歩行者が危険になった。
 ○以前より交通量が減ったので、バリアフリー化整備事業は地元からは歓迎されている。
 ○並行して鎌倉街道があるので、道路幅員を広げる必要はないと思う。



【狭あい道路の拡幅】 ●●●●●
 ○狭あい道路の拡幅整備とあわせて、電柱の移設の問題も考えていかななくてはならない。

【外周道路】
 <分梅通り>
 ○電柱が多く、特に神社踏切の北側の角にある電柱が危険である。
 ○歩道が狭いため、電柱を地中化して歩道スペースを広くできないか。
 ○歩道スペース確保のため、歩道の樹木を移動させたい。

<市道4-139号線（高安寺西側の道路）>
 ○自転車がすれ違えるだけの広さの歩道が必要である。
 ○歩道を片側に集約して広くしたら良い。
 ○下がりルート（市道4-159号線）のようなバリアフリー整備が望ましい。

【南北動線】
 ○現在の跨線橋の幅が狭いので、倍くらいの幅にしたい。
 ○南武線の上に人工地盤を整備して南北を繋ぐことも考えられる。
 ○駅前からミナノまでデッキをのぼして南北の行き来をスムーズにしたい。
 ○跨線橋の架け替えだけでなく、京王線のり面のスペースを活用して南北方向の動線を整備していくことも考えられる。

【良好な住環境の維持】
 ○駅の近くの高度利用はある程度ありうるが、その他の地域では現在の良好な住環境を維持していきたい。
 ○敷地面積については、相続のときに細分化される恐れがあるので、敷地面積の最低限度は決めておいたほうがよい。
 ○敷地が狭いとプライバシーの問題もあるためブロック塀にしてしまう所が多い。
 ○住宅地の中に小さな時間貸しの駐車場が増えているが、規制できないか。
 ○駅から離れたところでは古いアパートがそのままになっているところがある。

【地元の活動】
 ○浅間神社、八雲神社でのお祭りを行っている。
 ○祭りの際の子供神輿をミナノの通路を通してもらっている。
 ○大国魂神社のお祭りへの協力が中心である。

【建替えのルールづくりの進め方】
 ○地域としてどのレベルを目指すのかを明確にしながら、ルールについて検討すべき。
 ○敷地規模のルールづくりにあたっては、税金や建替えの資金と一体的に考えなければならない。